

佳作

そろばんを通して知ったこと

香川県 高松市立古高松小学校五年 山元 彩愛

パチパチパチパチ。そろばんの珠をはじく音は、わたしの好きな音の一つです。

わたしがそろばんを習うようになって、一年が過ぎました。習い始めたきっかけは、

「見るだけでいいからいっしょに行こう。」
と、数字が好きな弟にそろばんを習わせるための見学にわたしも連れて行かれたことでした。

小さい教室の中に、わたしと同じくらいの子が正姿でそろばんをしています。わたしは、そろばんにきょう味がなかったけど、むずかしい問題をすらすら解いている子を見てすごいなあと思いました。

そして見学に来たのは弟なのに
「お姉ちゃんもいっしょにすわって。」

と、なぜか先生はわたしにもくわしく教えてくれました。そして、

「しばらく体験でいいから明日もおいで。」
と言ってくれました。

ちよっとこまった気持ちもあったけど、その日から通うことになりました。

しばらくすると、そろばんの珠をはじくことがゲームをしているような気分になってきました。そろばんには、いくつか決まりがあって、それをまもると、答えが出ます。

『あげとり十』『どんとん』『おともだち取って十』など、面白い名前の決まりです。半年ぐらいすると、頭にそろばんをイメージ出来るようになってきました。週に四回通うこともありました。通ううちにそろばんが大好きになっていきました。

そして、六月に、商工会議所で三級の検定試験を受けました。先生は会場で待っていてくれていて試験の席まで連れて行ってくれました。

「いつも通りすれば大丈夫だよ。結果は関係なく落ち着いて楽しんでおいで。」

と言ってくれました。会場は、中学生や大人の人も、百人近い人がいました。

「スタート」の合図で、いっせいにパチパチパチパチと珠をはじく音が会場中に聞こえてきました。少

しきん張したけどワクワクして試験を受けることが
できました。そして合格しました。

わたしのお母さんは

「一度やってみて、いやだと思ったら無理しなくて
いいよ。でも、やる前からいやだと思っ
たいないよ。」

といつもいいます。あの時、見学について行って
なかったら、そろばんの楽しさや、達成感を感じる
ことがなかったと思います。

そろばんを始めてから、朝のドリルタイムも好き
になりました。買い物のお会計をレジに行く前に暗算
で計算できるようにもなりました。

いまわたしは秋にある二級の検定試験に向けて、
毎日がんばっています。目標に向けて努力すること
の大切さや、達成した時の喜びを、そろばんを通し
て知ることができました。